

成人看護学方法論 I	2年・前期	1単位	教授 千明 政好
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210632

1. 授業のねらい・概要

本科目は、成人期患者の呼吸器系、循環器系、消化器系、血液・造血器系の急性期（周手術期含む）および慢性期における病態、健康障害がその人に及ぼす影響、看護支援について学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 主な成人期慢性疾患と急性疾患の病態・健康障害の特徴を、日常生活に及ぼす影響を含めて理解する。
2. 手術療法など侵襲的な治療を受ける患者の、周手術期における回復の促進、合併症の予防、精神的支援について理解する。
3. 成人期慢性疾患の特徴と慢性疾患がその人に及ぼす影響、および慢性疾患と共に生きる人々を支援する看護方法を理解する。
4. 患者の安全管理の基本手法（危険予知トレーニング）を理解する。

3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、グループワークを取り入れ、生きた授業になるよう努力する。
学生の主体的な取り組みを期待する。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	集中治療と看護の役割	講義	予習：集中治療および重症患者について調べること。 復習：重症患者の観察のポイントおよび看護師の役割をまとめること。	千明政好
2	危険予知トレーニング	演習	予習：学生が実施する看護援助場面で起こりそうな危険について3項目以上考えること。 復習：危険予知トレーニングの4段階をまとめること。	千明
3	危険予知トレーニング	演習	予習：車いすからベッドへの移乗介助での危険を考えておくこと。 復習：車いすからベッドへの移乗介助で起こりやすい危険と、転倒防止できる患者の支え方をまとめること。	千明
4	成人の急性疾患・慢性疾患の特徴	講義	予習：急性疾患と慢性疾患の特徴について調べておくこと。 復習：急性疾患と慢性疾患について、具体的にどのような疾患があるかまとめること。	千明
5	成人の周手術期術前看護	講義	予習：術前看護の目的について調べておくこと。 復習：授業で学んだ術前看護援助のうち、ひとつを選びまとめること。	千明
6	成人の周手術期術中での看護，麻酔看護	講義	予習：全身麻酔の手順と種類について調べておくこと。 復習：全身麻酔導入時の援助と注意点についてまとめること。	千明
7	成人の周手術期術後看護	講義	予習：術後合併症にどのようなものがあるか調べておくこと。 復習：術後合併症からひとつを選び、予防のための援助と症状出現時の援助についてまとめること。	千明
8	循環器疾患看護の特徴とケア	講義	予習：患者の看護（急性期・回復期・満席・終末期）および症状に対する看護の部分を	千明

			読んでおくこと。 復習：胸痛に対する看護および呼吸困難に対する看護の部分についてまとめること。	
9	循環器疾患周手術期における看護の特徴とケア	講義	予習：狭心症の手術を受ける人の看護および弁膜症の手術を受ける人の看護の部分を読んでおくこと。 復習：弁膜症の手術後の看護のポイント 7項目をまとめること。	千明
10	循環器疾患慢性期における看護の特徴とケア	講義	予習：検査を受ける患者の看護を読んでおくこと。 復習：動脈血血液ガス分析異常値の評価と症状のアセスメント部分をまとめること。	千明
11	呼吸器疾患周手術期における看護の特徴とケア	講義	予習：肺がんの手術を受ける人の看護部分を読んでおくこと。 復習：肺がんの VATS による肺葉切除術後の看護のポイント 7項目をまとめること。	千明
12	呼吸器疾患看護の特徴とケアのポイント	講義	予習：症状に対する看護部分を読んでおくこと。 復習：在宅酸素療法および人工呼吸器を装着する患者の看護のポイントをまとめること。	千明
13	消化器疾患看護の特徴とケア	講義	予習：症状に対する看護部分を読んでおくこと。 復習：栄養療法・食事療法を受ける患者の看護分をまとめること。	千明
14	消化器疾患周手術期における看護の特徴とケア	講義	予習：食道癌の手術後の看護部分を読んでおくこと。 復習：胃癌の手術後の看護のポイントをまとめること。	千明
15	血液・造血器系疾患患者の看護問題とケア	講義	予習：主要症状を有する患者の看護部分を読んでおくこと。 復習：がん薬物療法における副作用のん後部分をまとめること。	千明

5. 成績評価の方法・基準

定期試験 100%で評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：系統看護学講座 成人看護学 [2]呼吸器 [3]循環器 [4]血液 [5] 消化器 医学書院
ナーシンググラフィカ成人看護学④ 周手術期看護 メディカ出版

参考文献：随時紹介する

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

人体の構造と機能の知識を必要とするのでシラバスの範囲をみて、関連するテキストで事前学習して望むこと。事前学習の必要時間は各自で考え十分に実施すること。最低1時間以上。

8. 受講上の留意事項

シラバス該当範囲に関して 30 分以上予習して授業に臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

指示した課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験後口頭または掲示でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

担当する教員は看護師として 20 年以上の臨床経験を持つ。